

にしなすケアネット

通信



平成30年2月5日
第2号

発行：にしなすケアネット企画運営委員

にしなすケアネットでは、地域から自治会役員・民生委員・福祉的な活動をしている方、行政、介護・障がい・児童分野の事業所等の多種多様な出席者が、事例などを通して地域課題について話し合ったり、勉強会などを実施したりしています。毎月、様々なテーマで開催しています。

第2回 平成29年9月28日(木)

『高齢者と障がいの二人暮らしの親子が自分らしく生活するためには』

事例発表者：地域包括支援センターとちのみ 遠藤氏

第3回 10月26日(木)

『障がい者制度と高齢者制度の勉強会』

講師：株式会社テトテ 大高氏・地域包括支援センター 上新氏

第4回 11月16日(木)

『若年性認知症の方が地域で暮らすために』

事例発表者：西部地域包括支援センター 菊地氏

第5回 12月21日(木)

『気付いていますか？子供の貧困』

発表者：NPO 法人キッズシェルター 森田氏



写真よりも和やかな雰囲気です。毎回行っています♪

今までのケアネット から出てきた意見で
私たち、地域で できそうなこと

- ◇歩いて行けるところに、高齢者や障がい者が地域で役割を持って社会参加できる場所があると良い。(自治公民館の有効活用)
- ◇見守り活動や気軽に集える通いの場のこと、地域で困ったことなどについて地域住民と専門職などで話しあい、一緒に考えていきたい。
- ◇心のバリアフリー、差別をなくすことが大切。地域住民の方に介護や障がいのこと、制度等について知ってもらうために勉強会や交流会等のイベントを企画する。
- ◇「介護者の会」「親の会」「当事者の会」「家族の会」等を地域や専門職に周知する。もしないのであれば作ってみる！
- ◇高齢者施設で「子ども食堂」を行う。高齢者施設のお祭りに子どもを招待する。

このような意見・想いが実際に形になるように働きかけていくことも重要なことです。これから新しい動きがでてきたら、どんどんお知らせしていきます！！



これからの地域づくりのために

制度や取り組み、病気についても学んでいます(*。*)

介護保険・障害者制度について

暮らしの中で「介護」「障害」といった言葉はよく耳にしますが、実際は知らないことや知識が曖昧だったりします。改めて学ぼう！ということで、介護保険については、地域包括支援センターとちのみ 上新氏、障害者制度については株式会社テトテ 大高氏から制度の概要を聞きました。



大高 久尚 氏

前頭側頭葉型認知症について

第4回は若年性認知症の方の事例を基に地域で暮らしていくためには、どのような支援・関わりができるかを話し合いました。その方は「前頭側頭葉型認知症」を患っていましたが、そもそもどのような症状が出るのかを国際医療福祉大学病院 神経内科 橋本医師から教えていただきました。



橋本 律夫 氏

医療機関の虐待への取り組みについて

第5回のテーマは、子どもの貧困についてでした。貧困と虐待は、直結することではありませんが、子ども分野の話として、国際医療福祉大学病院 小児科 門田医師から子ども虐待対応院内組織（CAPS）の概要をお話いただきました。病院内だけではなく、行政・教育機関と連携して対応しているとのことでした。

ケアラー(介護者)支援について

ケアネットでも、「家族の会」「当事者の会」などの必要性について意見が出ています。その中で病気や障がいのある家族を介護している方(ケアラー)への支援の重要性をこだま社会福祉士事務所 児玉氏から教えていただきました。児玉氏はケアラーが集い、最近の出来事や介護の悩みなど思い思いに話し合う、ケアラズカフェを西那須野地区で定期的を開催しています。

【今後の予定】

第7回 2月22日(木)

内容 地域の問題を考える

第8回 3月22日(木)

内容 まちづくり講演会

・目指すべき地域像について

【事務局】 地域包括支援センターとちのみ
〒329-2763

住 所 那須塩原市井口533-11

電話番号 0287-37-1683

FAX 番号 0287-37-7688